

対象	R5	R6	R7	R8
教育委員会	4月:実現可能な実施方策の研究・共有 5月:視察調整(運営母体のあり方中心) 6月:校長会(アンケート実施依頼) 6月:保護者アンケート(国の動きの周知、指導者としての参画可能性の確認含む) 6月:視察 7月:第3回委員会準備 8月:運営母体候補団体の見極めと折衝 8月:第4回委員会準備 9月:第5回委員会準備 9月:学校開放例規改正着手 10月:第6回委員会準備 11月:第7回委員会準備 11月:委員会による市長報告 11月:予算要求 12月:校長会・教育委員会・市議会全協報告 1月:学校開放例規案提出	人員・提供プログラムが整った実施主体から試行スタート。	いつから困窮世帯への支援をスタート？  この後、平日の移行を検討する段階になって、「平日の報償が払えない」ではいけない。結局、最初から平日も想定した人員確保と予算検討が必要になるものと想定。(平日こそ、人員確保に報償が必要では？)	中学生を受入れる意思があり、その体制が整った活動は、すべて生徒に紹介していく。
運営母体となる可能性のある団体へのアプローチ	5月:体育協会理事会・総会での状況報告(アンケート結果・国の動き・運営見通し) 8月:体育協会又は新設任意団体構成キーマンへの下話 10月:体育協会理事会での相談(体協事業として受けられるか・任意団体設置か、種目別での人員確保) 3月:理事会での協議	5月:理事会・総会 ・運営母体となること(参画すること)の決議 ・種別協会主体で実施主体と指導人材探し 8月:指導人材探し結果報告	運営主体の経費 ・コーディネーター ・事務局員	
部活動検討委員会	7月:第3回(実施方策案、アンケート結果、視察結果、計画書体裁) 8月:第4回(基本方針・運営・調整・実施主体) 9月:第5回(離島の活動・施設の利用・参加方法) 10月:第6回(活動推進に係る支援・推進期間後の) 11月:第7回(計画最終調整・市長報告)		R5で検討委員会は廃止？	
種目別スポーツ団体へのアプローチ	5月:スポ少理事会・総会での状況報告(国の動き・アンケート結果・運営見通し) 11月:スポ少理事会での相談(指導人材確保)	5月:理事会・総会 ・種目別に中学世代を見れないか要請 ・指導人材探しで種目別協会との連携を要請 8月:指導人材探し結果報告		
市執行部へのアプローチ	5月:状況及び予算見込の報告(国の動き・運営見通し・各種アンケート結果) 11月:検討委員会による報告 11月:予算要求			
校長会、教師へのアプローチ	6月:保護者アンケート実施依頼 8月:状況報告、学校開放規程改正 12月:計画報告、開放改正案提案	5月:鳥羽のスポーツに関わり続けてもらえる教師の調査(個人と種目の特定) →種別協会へ情報提供 7月:離島校区の意見交換	試行スタート前には、実施主体との諸調整(指導内容・場所確保等)を要す	
生徒・保護者へのアプローチ	6月:保護者アンケート(国の動きの周知、指導側での参画可能性の確認) 8月:アンケート結果報告	5月: // 保護者調査(個人と種目の特定) →種別協会へ情報提供 7月:離島校区の意見交換	試行スタートの周知	
市議会へのアプローチ	12月:計画報告(全協)			
市民へのアプローチ	2月:広報掲載	5月: // 市民調査(個人と種目の特定) →種別協会へ情報提供		
協賛者へのアプローチ			いつから寄附、企業協賛等を募るか？	